



サバンナで生き残る愛根



河合愛根

目次

サバンナ☆	1
-----------------	---

サバンナ☆

サバンナで生き残る愛根☆

第2次吉田内閣の外務大臣に抜擢された、この河合愛根は、外交のため、南アフリカ共和国へ、向かうことになりました。

「アパルトヘイトとか、問題があった国ね！
みんな、おんなじ人間なのよね！
この国の歴史と文化も少し学んで、ズールー語も勉強したし、
あとは、真摯に控えめな姿勢で、友好関係を築かなくちゃ！
みんなで仲良くは、全国共通！ 頑張るのだ！！」

愛根は、飛行機に乗り込みました。

「ボディガードなんて、いらなくていいのに、
つけてくれるから、まっいっか！
あとは、お祈りに励むべし！！」

愛根は必死に、祈っていました。

日本と世界が、もっと栄えますように……。

飛行機が発車しました！
こんな鉄の固まりが飛ぶなんて、いまだに信じられない。

「飛行機だけは、なれないのよね……。
主を信頼して、自分を信頼！！
かしら??」

愛根は、飛行機に乗って、びゅんびゅん飛んでいました。

「スマホも使えないし、映画見てる余裕ないし、

ズルー語の勉強でもしてよ！！」

愛根はズルー語の勉強を始めました。

「花嫁が umaoti (umakoti) っていうのか……。

じゃあ、あたしは、ジーザスさまの umakoti なのね！！」

それから、飛行機がびゅんびゅん進みました……。

すると……、

飛行機が揺れ出し、高度がどんどん下がっていくような気がします……。

何があったのでしょうか？

それから、どんどん高度が下がっていき、

緊急アナウンスが流れました……。

「現在、エンジントラブルのため、この飛行機は、あと5分で、

タンザニアのセレンゲティ国立公園に不時着します！！

皆さん、シートベルトを締めて、緊急落下に備えてください！！！」

な、何ですってえええ！！

ちょ、聞いてないし！！

今から、外交が！ 外交が！！

セレンゲティ国立公園って言ったら、サバンナよね??

どうやって生き残るのよおお！！

愛根の心の叫び空しく、

飛行機は、急速度で、落下しました。

「誰か、助けてえええええ！！！！！！！」

飛行機は、地面にぶつかった。

私が、目を開けるとそこは、瓦礫の山だった。

「何これ、邪魔よ、邪魔！！ どきなさい！！」

愛根は、必死の力で、鉄くずをどかした。

「あああ、どうしよう！ みんなは！！
どうしたの！！！？？」

愛根は、飛行機の残骸をくまなく探した。

「死んでる！ みんな死んでるわ！！
優しいスチュワーデスさんも！！
みんな死んでるわ！！」

愛根は、悲嘆にくれました。

「もう、しばらくは、この、セレンゲティで、
暮らすしか、なさそうね！！
どうやって、生き残ろう！？？」

愛根は、必死に考えました。

「機内食おいしかったけど、ここには、草しかない！！
そうだ！！ 草を食べよう！！
ネブカドネザル王も、確か、エルサレム神殿から、分捕ってきた、
神殿のものを使って、飲み食いしたら、罰が当たって、
7年間、草だけ食べて生きてたからね！！
そうだ！ 草を食べようwww」

愛根は、そこら中に生えている、小麦色の草を、
食べてみました。

「やっぱり乾燥してる地域だけあって、乾燥した味わいね！！
でも、おいしい！！
シマウマさんも、草と雨だけ食べて、生きてるみたいだし、
そうかあ、シマウマさんの強靱な脚力は、ただの草 only で、
できてるのか.....。
へえええ」

愛根は、草を、おいしく、いただきました☆

「ただ、熱いわね！ 服脱ご、誰もいないしwww」

愛根は、スラックスと、ブラジャーだけになりました☆

「ふうふう、解放的～～～、幸せ～～～♡」

愛根は、生きていることの幸せを満喫しました☆

すると……

ライオンのメスの群れが、愛根ににじりよって来ました……。
ちょっと、怖いです。

「ライオンさん、大丈夫だよ、私は味方だよ。
何もしないよ」

愛根は無防備に、ライオンたちを見据えました。

ライオンたちは、あまり襲って来ません。

人間というのは、特殊な生き物で、本来、野生動物に襲われたり、
しないのです。
人間がトップだと、自覚しているからでしょうか??

ただ、愛根も慣れないため、警戒しているのは、事実です。
でも、彼らに優しい姿勢は崩しません。

食べたいなら、食べたっていいのに……。

愛根は、思いました。

この子たちも、腹を空かせて、何日もいるはずです。

お腹は、すきまくってるはずですが、怖いけど。

食べて食べられて、生きるのが、自然の摂理です。

だと、思うけど……。

”でもちょっと可愛いかも……♡”

愛根は、思いました。

ライオンたちが、にじり寄ってきました。

可愛い子たちです。

「いい子いい子してあげるね♡ 可愛いね君たち！！」

愛根はライオンの下あごを、くりくりしました。

可愛い子たちです！！

そうしていると、オスライオンが、近寄ってきました！！

「げっ！！ 群れのボスだあああ。

丁重にお出迎えしないと！！」

愛根は、心で、群れのボスに挨拶しました。

ボスも、愛根にふれあいたいみたいなので、
たてがみをさすってあげました。

みんな、気持ちよさそうです！！

私は、この群れと共に、一緒に付き合うように、なりました☆☆

☆ ☆ ☆

「いけ！！ 頑張れ！！！」

愛根は、狩りの応援をしました！！

私は、草だけ食べて、髪を引っこ抜けば、
生きていけるけど、この子たちには「絶対に」肉が欠かせません☆☆

愛根は、必死に応援をいたしました☆☆

「よし！！ しとめた！！ シマウマさんちょっと可哀想だけど……」

メスライオンたちは、シマウマ1頭をしとめました☆

ボスが、まず、シマウマの肉をあさっていると……。

うわああ、何か来ましたああ！！

そう！ ハイエナです！！ ↓

ライオンたちは、可愛そうにも、ハイエナさんのために食料を譲りました。

しかし、ハイエナさんたちは、それで終わりません！！

何と、この弱弱しい愛根を、どうしてやろうか、企んでいるようです！

ハイエナに襲われて、死ぬのは、やだ！！

愛根は、一瞬、思いました。

しかし、愛根は、ハイエナさんにも、神さまの愛を、
アガペーを示そうと思い、必死に、優しく接していました。

すると、ライオンたちが、食ってかかって来ました！！

そう！！

愛根を助けようと、しているのです！！

何て、ありがたい！
でも、ここは……。

愛根は、思いました。

このままケンカすると、どっちかが、必ず傷つきます。

自然界では、怪我は「致命傷」です。

生き延びていくことができません。

愛根は、双方のケンカがやむように、
双方に、同じだけの愛を送りました☆☆

そうすると……。

ライオンさんが、少し食べた後に、
ハイエナさんが食事を、しているでは、ありませんか！！

「うんうん、みんないい子！！
仲良し！！」

愛根は、サバンナの動物たちと、ずーっと暮らすのでした☆

お・し・ま・い☆♡

あとがき☆

いやああ、こんなにうまくいくかなああ。
ひるんだり、ちょっと待った！！
何てやってると、ぐいぐい来るのは、明白ww
優しい姿勢で、ある程度は、乗り切れる？ 気がwww
食べるなら、食べれば？
くらいの気持ちが、いいのかもしれないねえええ。
私たちを愛するのは、主の愛。
すべての存在を公平に愛しているのです。

狼は子羊とともに宿り、豹は子やぎとともに伏し、子牛、若獅子、肥えた家畜がとも
にいて、小さな子どもがこれを追って行く。

イザヤ書11章6節

アーメン☆彡

2024/4/28

河合愛根

可愛い愛根ブログ♪

瑠璃色の気持ち

<https://ameblo.jp/lapis-2019/>

サバンナで生き残る愛根

著 林愛根

制作 Puboo
発行所 デザインエッグ株式会社
